

特定非営利活動法人 災害支援団 Gorilla

令和元年度 第1回理事会議事録

特定非営利活動法人 災害支援団 Gorilla

令和元年度 第1回理事会議事録

1.日時:令和元年12月13日(金)午後19時00分~21時00時分

2.会場 千年の宴 岸和田

3.(特定非営利活動法人 災害支援団 Gorilla 理事) 3.理事総数:6名

4.出席者数:出席6名(本人出席:6名委任状出席:0名 議決権行使書:0名)

5.議案:第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案

6.議事経過及び結果

(1)理事が本日の理事会は、定款第36条の2に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

(2)定款第35条の規定に基づき、茅野理事長が議長に就任した。

(3)定款第38条第6項の規定に基づき、議長が議事録作成人に枝廣理事、議事録署名人に里元理事を指名した。

(4)第1号議案「役員候補者の選任に関する件」

現在の各理事を次年度継続として上程した。その後議長が全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(5)第2号議案「運営委員任命の件」

全運営委員の任期が満了に満たない、又、現在、団設立1年を経過していないことにより、議長は上記議案を上程した。

議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決、運営委員 6名

茅野匠(再任)・枝廣龍哉(再任)・志藤研太(再任)・里元慎弥(再任)・西野智洋(再任)

仲恭成(再任)

※質疑応答

茅野:まだ手探りのことが多く運営は再任を願う 西野:是非そうした方がいい。里元:内容については?。枝廣:議案以外の事であり、口頭で説明する。

(6)第3号議案 正規団員証・賛助会員証について

議長は上記議案を上程し枝廣理事が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めたところ、下記要約の通り質疑応答が行われた。その後、提案された修正も含め議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく原案を承認可決した。

※質疑応答

茅野:団員証については、現在の制服(パーカー、Tシャツ着用で団員であることの識別を満たしているのか？里元:たぶん誰が誰なのか？わからないであろう 西野:避難所等、関係者以外立ち入り禁止の場所への立ち入りについて、現状のままでは不安要素も否めない 仲:やはり誰なのか？所属と氏名がはっきりと解る事が必要だ 枝廣:賛助会員についても、各地域でのイベントにおいてもサポートに入る場合、身分を証明する者として賛助会員証を団員と同様に、常時見える位置(IDホルダーで首からぶら下げる)を行わないと、不安要素はありますね 志藤:やはりIDホルダーによる提示を行いましょう

(7)第4号議案 賛助会員やその他への活動等の冊子、パンフレット配布について

議長は上記議案を上程し議長が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めたところ、下記の通り質疑応答が行われた。その後、提案された修正も含め議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく原案を承認可決した。

※質疑応答

茅野:現在、被災地の現地においての活動に集中したい。又、賛助会員、その他の不特定多数に対して、一般的には冊子やパンフレットを発行している団体等が殆どであるが、災害の現地支援を行うにあたり、定期的に発行する資料やパンフレットがあることで、活動支援金等が集まりやすくなるが、その制作費も、運営費として充当されることになる 枝廣:そこにお金を使用するのであれば、現地への直接支援へ充てたい 西野:活動の報告については、団体のHPで公示できているのではないか？ 里元:ネットが使えない高齢者の方々についてはどうする？ 枝廣:全く冊子を作らない訳では無い 里元:期間をさだめると言う事か？枝廣:定期的にではなく、不定期で発行することでよいのでは？ 里元:いつやねん？ 仲:不定期であれば、予算を組んで検討すればいい 茅野:例えば年間で1,000部 枝廣:活動するに当たり、HPを見れない方への配慮としてあれば、最小限の冊

子を作る事は良いが、定期的に作成することに必要性はない それよりも現地支援を最優先する事が我々の使命ではないか？ 茅野：その通り 里元：作成については不定期で最小限の者であっても良いと思う 志藤：よろしくお願ひします

第 5 号議案「令和 2 年度事業計画書(案)承認の件」、第 6 号議案「令和 2 年度活動予算書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し、第 5 号、第 6 号議案について枝廣理事が概要の説明を行つた。その後、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく修正原案を承認可決した。

※質疑応答

枝廣：会の設立当初に 2 期分を作成してあるのだが、本年の災害（九州北部豪雨災害（佐賀県）・令和元年台風 19 号災害（茨城県・福島県）において、あまりにも範囲が広く、活動範囲も大きく広範囲に、又、長期間であるため内容が大きく変わりました 茅野：災害が多発し、計画、予算どちらの「案」についても、修正が必要 志藤：大幅に修正を検討した方が良いのでは？ 里元：活動の範囲を限定しては？ 仲：それはできない 必要となる被災地へ行くことが、我々の使命なので？ 枝廣：状況に応じた動きをする事が最善だと思います

7. その他（活動報告、意見交換、今後の活動行事説明など）

8. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。（21 時 05 分）上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人 2 名が、次に

記名押印する。

特定非営利活動法人 災害支援団 Gorilla 理事会

令和元年12月13日 議長



議事録署名人 枝廣龍哉 

議事録署名人 里元慎太郎 